

組織目標評価報告書 (令和5年度)

部局名: **環境管理センター** 部局長名: **寺東 宏明**

目 標		目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域	関連する 中期計画の番号	教育領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等 1. 環境分野並びに環境管理センターに関連する教育訓練を19回実施した。 2. 環境分野並びに環境管理センターの業務に関連する教育教材を13件作成し、公開・実施した。実施した教育は、水質管理基礎、水質管理(化学物質取扱者)、水質管理(実務入門)、化学物質管理(化学物質取扱者用実務入門)、化学物質管理(環境管理員用実務入門)、廃棄物管理(実務入門)、環境マネジメント(実務入門)、廃液処理技術指導員講習(新規登録者対象)、廃液処理技術指導員継続講習会(既登録者対象)、化学物質管理(実務情報)、水銀含有機器取扱説明会、環境分野コンプライアンス概論(e-Learning)、実務担当者向け講習会(水質管理)(e-Learning)である。なお、実務担当者向け講習会(環境マネジメント)(e-Learning)、プラスチック資源循環法の対応に関する講習会(e-Learning)については、センター内で検討の上、実施を見送った。 3. 環境分野並びに環境管理センターに関連する学部教育・大学院教育の講義を分担担当(出前講義6回、安全衛生入門1コマ)し、全学的な環境マインドの醸成に貢献した。 4. 環境分野並びに環境管理センターに関連する教職員対象の講習等を14回実施した。
②研究領域	関連する 中期計画の番号	研究領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等 1. 環境分野並びに環境管理センターの業務に関連する情報を収集調査し、本学の環境マネジメントに活用する(目標、報告書、その他資料等)。 2. センター教職員並びにその業務に係る教職員は環境分野に関する研究成果を論文として公表する(センターとして1編以上)。 3. センター教職員並びにその業務に係る教職員は環境分野に関する研究成果を学会で発表する(センターとして1回以上)。 4. センター教員は学部研究資金獲得のための応募を行う(センターで1件以上)。 5. センター教員は学内外における共同研究を推進する(センターで1件以上)。
③社会貢献(診療を含む)領域	関連する 中期計画の番号	社会貢献(診療を含む)領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等 1. 環境報告書を公表し、ステークホルダーとの環境コミュニケーションを図った。 2. 学内外組織並びに学生との連携により、エコナイト及びグリーンキャンパス等を開催した。
④管理運営領域	関連する 中期計画の番号	管理運営領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等 1. センターの業務(廃液受入、排水管理、作業環境測定、化学物質監査、化学物質管理システムの運用・管理、環境報告書作成など)を円滑に遂行した。 2. 昨年度末退職した教員の担当業務を今年度着任した新任教員に円滑に引き継いだ。 3. センター運営委員会(令和5年5月25日、令和6年2月29日)を開催した。
⑤センター・機構等業務	関連する 中期計画の番号	センター・機構等業務における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等 1. 環境マネジメント委員会(2回)を開催した。 2. 環境報告書を作成し、本学の環境活動の公開に貢献した。 3. 化学物質管理システムの効果的運用を行うとともに化学物質監査を1研究科1学部1研究所1病院2センター1事務部52研究室に対して実施し、本学の研究の発展に安全面並びに法令遵守の面で貢献した。 4. 関連部局と協力し、廃液受入(17回)、排水管理(津島地区排水分析検査(12回)、津島地区立入採水対応(2回)及び立入検査対応(1回)、鹿田地区立入検査対応(2回)並びに作業環境測定(18回)を行った。 5. 業務計画に示す法定報告及び届出を行うことにより、本学の環境関連実務に貢献する。 また、岡山市立入検査対応としての届出(「特定施設設置届出書」、「特定施設使用廃止届出書」、「特定施設設置届出書」、「特定施設使用廃止届出書」、「特定施設設置(変更)許可申請書」、「特定施設使用廃止届出書」)を行った。

注1) 本様式全体が1ページに収まるよう作成してください。

注2) 自己評価による達成度(5~1)は非公表項目とし、組織目標評価結果を公表する際に消去します。

(※該当がある場合のみ) 昨年度の指摘事項に対する取組状況

改善を要する点	
対応状況	